

Q33. DC を入力したのですが、電源が起動しません。

A33. DC 起動ができない原因について、NSP2シリーズとNSP3シリーズの2つに分けて説明します。

NSP2シリーズのDC起動できない原因について

NSP2シリーズにおいて、DCを入力しているのに起動しない場合があります。この場合、次の手順によりDC入力のみで起動するようになります。

DC(バッテリー)を接続した状態で、電源本体のスイッチを ON OFF ON(この間5秒程度時間をおいて)する。

この現象が発生する理由

ノンストップ電源は、Remote OFF(ソフトスイッチによる電源停止)状態の時にAC有りからAC無しになると強制的にDCの回路を開放にします。これは、AC無しの状態でそのままDCで5Vスタンバイ電圧をバックアップし続けるとバッテリーが放電してしまい、この保護のための機能です。この保護の復帰条件として電源本体のスイッチを ON OFF ON またはACの復旧があげられます。

ただし、DC駆動を既に行っているときRemote OFFしてもDCの回路を開放することはありません。

これは、オフィス等での運用を考慮に入れた結果組み込まれた機能です。通常、パソコンの電源をOFF(Remote OFF)した状態で、オフィスを閉めるときメインのブレーカーを切るという事が行われます。このとき、前述のRemote OFF状態でAC有りから無しになるという状態変化が起こります。これを検出して電源を完全停止させています。

NSP3シリーズのDC起動できない原因について

NSP2シリーズの場合はAC、DC入力いずれか一方の入力、または両入力でも起動することができます。これに対してNSP3シリーズは、DCだけを入力した状態で電源を起動することができません。

NSP3シリーズのDC入力は、AC入力があった状態からなくなった場合にバックアップの目的で使用します。(NSP3シリーズの仕様)

ここでいう「起動」とは、全く電源が停止している状態から出力を開始する事を指します。

NSP3シリーズのコンセプトとして「廉価版」という事があげられます。ここで、コスト追求の観点からNSP3シリーズではDC入力だけの場合の起動回路を削除しています。通常のUPS用途はACが常時供給されており、異常時のみDCによるバックアップを行います。NSP3シリーズは、まさにこの用途のために開発しております。

NSP2シリーズのコンセプトとしては「2GATE(入力)」という事があげられます。これは、AC、DCいずれの電力源であっても、2つの入力口からそれぞれを入れ込み、どちらでも動けるという思想です。

以上の思想をご理解いただき、NSP2シリーズ、NSP3シリーズ、お客様の用途に合わせてお選び下さいますようお願いいたします。